



NAWS みらいプラン

経営戦略計画

令和8年度～令和10年度



名古屋上下水道
総合サービス株式会社

目次

はじめに	1
経営戦略計画の策定	2
経営理念、経営戦略方針及び事業概要	3
経営戦略目標	6
・ 公共サービスの充実	6
・ 人材力・現場力の強化	8
・ 財務内容の改善・向上、効率性の発揮と成果	11
計画の進行管理	13
NAWS SDGs宣言	14

はじめに

名古屋上下水道総合サービス株式会社(NAWS)は、昭和36年に名古屋市指定水道工事店協同組合の特別事業部として発足して以来、60年以上にわたり名古屋市上下水道局の補完・代行を担い、市民生活を支えるライフラインの維持に尽力してまいりました。また、平成23年の株式会社としての事業開始を機に事業領域を市外へ拡大し、近隣上下水道事業体等を取り巻く多様な課題の解決にも取り組んでいるところです。

昨今、上下水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、人口減少や節水機器の普及による料金収入の減少、施設・管路の老朽化、職員数の減少に伴う技術継承、さらには頻発する豪雨や南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えが喫緊の課題となっています。

そうした中、当社は、給水装置・排水設備の取付管工事、水処理センターや汚泥処理場・リサイクル施設、雨水ポンプ所の運転管理、水道メータの検針・徴収業務など、多岐にわたる事業を通じて蓄積してきたノウハウを確実に継承し、局の持続可能な経営基盤の構築に引き続き貢献してまいります。加えて、局の補完・代行で培った経験を活かし、近隣上下水道事業体等への技術協力や業務支援などによる課題解決にも寄与してまいります。

また、令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨での応援活動で得た経験を糧に、災害対策を充実させ、上下水道事業体等の事業継続に貢献していきたいと考えています。

第6期経営戦略計画(令和8年度～令和10年度)は、これまで培ってきたノウハウを基盤としつつ、時代の変化に対応する一つ的手段として、デジタル技術の活用を掲げています。従来の枠組みにとらわれない柔軟な対応として、最新技術の調査・研究や導入可能性の検討を進め、デジタル技術の活用を通じた新たな受託業務の可能性も模索していく所存です。

本計画は、上下水道事業の持続的発展に寄与するとともに、将来にわたり当社の安定的な事業経営基盤を確立することを目的として策定いたしました。さまざまな課題の解決に取り組みながら、「ソーシャルカンパニー」としてさらなる飛躍をめざしてまいります。

今後とも、当社へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※ソーシャルカンパニー：社会的課題の解決を目的として収益事業を継続的に行う企業

沿革



経営戦略計画の策定

💧 計画策定の考え方

経営理念のもと、経営戦略方針、経営戦略目標を実現するため、名古屋市が策定した「外郭団体のあり方」における4つの戦略基軸『① 公共サービスの充実 ② 人材力・現場力の強化 ③ 財務内容の改善・向上 ④ 効率性の発揮と成果』(本計画では4つの戦略基軸のうち、③財務内容の改善・向上と④効率性の発揮と成果を1つの戦略基軸としてまとめる)に対応した具体的な事業実施計画として経営戦略計画を策定する。

また、前計画期間における取り組み結果を踏まえ、事業の現状と課題を整理したうえ、本計画における取り組み及び成果指標を決定し、決定した取り組みを着実に進めていくものとする。

💧 計画の構成

本計画は、次の4つの項目から構成する。

- ① 経営理念、経営戦略方針及び事業概要
- ② 経営戦略目標
- ③ 個々の取り組み及び成果指標
- ④ 計画の進行管理

💧 計画期間設定の考え方

本計画で策定した取り組みと名古屋市の施策、近隣上下水道事業体等の動向や社会情勢とのかい離が進まないよう、短期で計画を見直すものとする。

また、これまで策定した経営戦略計画との継続性も考慮し、計画期間を3年間とする。

3 カ年計画



経営理念、経営戦略方針及び事業概要

経営理念

ライフラインである上下水道事業の一翼を担うソーシャルカンパニーとして、社会的課題の解決と営利企業の融合を目指します。

経営戦略方針

これまで培ってきた上下水道に関するノウハウをさらに高め、安定的な事業運営の推進により信頼を獲得し、上下水道を取り巻く課題の解決に貢献することを目的として、補完・代行機能をより強化しながら、名古屋市域外へも積極的な事業展開を図っていきます。



本社ビル



事業概要



名古屋市からの受託業務

◆上下水道取付管工事



- ・ 給水装置道路取付工事、排水設備道路取付工事

◆給排水設備関連業務



- ・ 排水設備現場確認、貯水槽水道点検、臭気調査、公共下水道接続勧奨等

◆下水道施設の維持管理



- ・ 汚泥処理施設、雨水ポンプ所、水処理センター等の下水道基幹施設や付随施設の管理・運営

◆上下水道工事の施工監理



- ・ 道路掘削跡復旧工事監督補助、配水管布設工事監督補助

◆水道メータの検針等業務



- ・ 水道メータの検針、井水検針、料金の督促・徴収等、中止指示値確認業務

◆研修関連業務



- ・ 水道関連研修の補助業務、配水管施工士登録講習



名古屋市以外の上下水道事業体等からの受託業務等

◆各種計画等の策定支援



- ・施設更新計画、経営戦略計画等の上下水道事業に関する計画策定に係る支援

◆給排水設備関連業務



- ・給排水設備の受付・審査・現場検査、公共下水道接続勧奨

◆水道施設の維持管理



- ・配水管・給水管の埋設状況確認、配水池・ポンプ場等の点検確認、水圧測定、配水区切替等に係るバルブ操作等

◆上下水道工事の施工監理業務



- ・公共下水道工事監理業務、配水管布設工事監督補助

◆営業関連業務



- ・水道メータの検針、料金収納、受付業務等

◆上下水道関連団体等からの業務



- ・上下水道関連団体研修の企画運営、研修講師の派遣、JICA 研修員受入



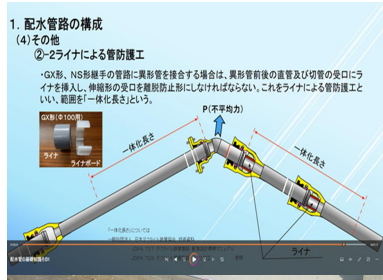
その他の事業

◆当社実施講習



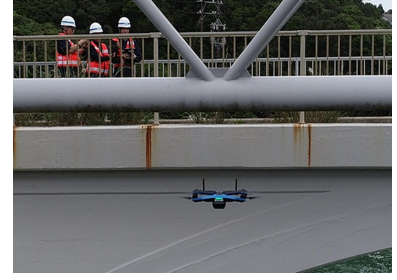
- ・耐震性配水管の技能講習、バルブ操作技術・技能講習、大口径管の技能講習、水質管理講習、漏水調査講習、災害応援対応講習

◆オンライン講習



- ・給水装置入門、排水設備入門、水質管理の基礎と実務、配水管の基礎知識、大口径管の基礎知識、地方公営企業会計の基礎知識

◆ドローン点検・撮影業務



- ・水道施設点検、広報用動画撮影

経営戦略目標

公共サービスの充実



現状と課題

1. 補完・代行業務で培った技術力で、局や近隣上下水道事業体等に対して質の高いサービスの提供に努めている。
局や近隣上下水道事業体等の多様なニーズに応えるため、社員のスキルを磨き、より一層サービスの質を高めるとともに、そこで培った知識・技術を次世代へ確実に継承して行く必要がある。
2. 施設の老朽化や人員不足など、上下水道事業運営に関する課題に対応する支援のあり方を検討している。
局や近隣上下水道事業体等の課題を把握し、それぞれのニーズに合った具体的な解決策を検討・提案する必要がある。
3. 発災時における上下水道事業の継続に資するため、局をはじめとする事業体や関係団体との連携による災害対応力の強化に努めている。
過去の災害支援活動の経験も踏まえ、災害時における役割と活動内容を明確にし、防災訓練や研修を通じて社員一人ひとりの災害対応力の強化と意識の向上を図る必要がある。
4. 事業活動や地域貢献活動への協力を通じて、SDGsの達成に向けた取り組みを積極的に進めている。
今後も社員一人ひとりの意識を高めるとともに、SDGsに関する知見を深め、持続可能な社会の実現に向けた行動へと繋げていけるよう努めていく必要がある。





経営戦略目標 と 個々の取り組み

①これまで培ってきた上下水道事業に関する知識・技術・経験に加え、デジタル技術も活用し、サービスのさらなる向上を図る。

- ・顕在化する人材不足をはじめとした局事業の新たな課題解決に資するため、これまで培ってきた知識・技術・経験を活かし、必要な人材と体制を整備することで課題解決に向けた支援を推進する。
- ・水道メータの検針に関するお客さまアンケートの結果を業務へ反映させサービスの向上を図る。
- ・デジタル技術の最新動向に常にアンテナを張り、イベントや説明会等への積極的な参加を通じて得た知見を当社の事業に効果的に活用する。
- ・デジタル技術を活用した受託業務の改善や新たな業務スキームなど、上下水道事業体等のニーズに即した実効性の高い提案を積極的に行う。

②局や近隣上下水道事業体等が抱える課題を広範に把握し、その解決に向けた取り組みに寄与する。

- ・受託業務や営業活動を通じて、上下水道事業体等が抱える課題を広範に把握し、それぞれのニーズに応じた具体的な解決策を提案する。

③災害支援の経験を踏まえ、災害発生時に局や近隣上下水道事業体等からの応援要請に迅速かつ適切に応じられるよう災害対応力を強化する。

- ・災害時を想定した応急活動訓練(仮設給水栓設置訓練や給水車操作訓練など)を実施し、災害対応力を強化する。
- ・災害時には、局をはじめとする事業体や関係団体との災害協定に基づき、人員派遣や給水車による応急対策などに協力するとともに、合同の防災訓練参加などを通じて迅速な対応と連携体制の強化を図る。
- ・防災訓練や災害支援を通じて得られた教訓や改善点を検証・整理し、災害対策要綱やBCPなどに反映することで、災害対応力の強化と支援活動の迅速化・効率化を図る。

④SDGsの推進に積極的に取り組む。

- ・防犯をはじめとする地域に根差した活動や、子どものキャリア教育を支援する活動などに協力する。
- ・環境に配慮した取り組みを自主的に実施する。
- ・SDGsに関する社員一人ひとりの意識を高めるため社内研修を実施する。
- ・水道メータの検針時における漏水の早期発見により節水に寄与する。



成果指標

項目	R8	R9	R10
検針部門におけるお客さま満足度 90%以上を達成する。	90%以上	90%以上	90%以上
上下水道事業体等に対し、デジタル技術を活用した業務改善策等を各年度 3 件以上提案する。	3 件以上	3 件以上	3 件以上
近隣上下水道事業体等が抱える課題とニーズを把握するための訪問活動を各年度 50 件以上行う。	50 件以上	50 件以上	50 件以上
災害対応力強化に関する訓練や研修を各年度 12 回以上実施する。	12 回以上	12 回以上	12 回以上
社屋(本社)周辺の清掃活動を各年度 200 日以上実施する。	200 日以上	200 日以上	200 日以上

人材力・現場力の強化



現状と課題

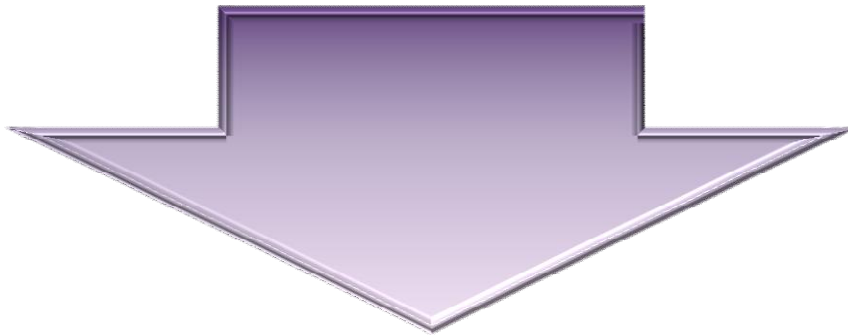
1. 局や近隣上下水道事業体等のニーズに対応するための、知識・技術を継承していく人材の確保に努めている。
業務に求められる資格の取得促進を図るとともに、採用活動の見直しなどにより継続して人材を確保していく必要がある。
2. 社員のスキル向上と技術継承を目的とし、OJTやOFF-JTに取り組んでいる。
実効性のあるOJTの推進と自己学習の支援により、社員のスキルの向上と成長意識を醸成するとともに、経験豊富な社員の知識や技術をOJTやノウハウの電子化を通じて確実に継承する必要がある。
3. 風通しの良い職場風土の醸成に努めている。
社員の表彰制度や社内報の充実に加え、職場会議や組織間交流を通じて、社員が自由に意見・アイデアを発信できる環境を整備し、組織の一層の活性化を図る必要がある。

4. 労働災害の防止に向け安全意識の向上に努めている。

安全衛生研修やリスクアセスメントの継続に加え、危険マップの共有や安全作業の特別教育などを通じて、より一層の安全管理及び安全意識の向上を図り、労働災害の根絶を目指す必要がある。

5. 公的な役割を担う団体として、ガバナンスの強化に努めている。

引き続き、社内監査を通じた適正な事務処理や情報管理に加え、コンプライアンスの徹底などによりガバナンス強化を図る必要がある。



経営戦略目標 と 個々の取り組み

①業務に必要な人材を計画的に確保・育成するとともに、実効性のある人材育成により、社員のスキル向上と技術継承を着実に進める。

- ・業務マニュアルや作業動画の作成などを通じて、社員が保有する技術・技能や業務ノウハウを誰もが理解・再現できる形で次世代へ継承する。
- ・業務遂行に必要な資格の計画的な取得を推進し、社員の資格取得率の向上を図る。
- ・採用活動を効果的に実施し、業務の遂行に必要な人員の確保に努める。
- ・毎年度策定する人材育成計画(アクションプラン)に基づき、OJTとOFF-JTを組み合わせた実践的な教育に各部署が主体的に取り組み、計画的かつ着実に人材育成を推進することで、組織全体の持続的成長と競争力強化を図る。

②風通しの良い職場環境の構築により組織の活性化を図る。

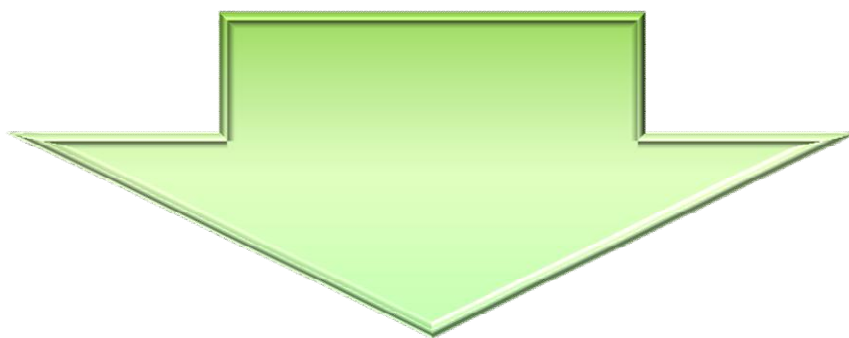
- ・定期的な会議や面談などを通じて、自由な意見交換と情報共有を促進する環境を整える。
- ・社員による優れた業務改善の取り組みや創意工夫に富んだ提案を表彰し、士気の向上を図る。
- ・メンタルヘルス研修の受講などにより社員の心の健康の保持増進を図る。
- ・社内研修や社内報の活用により部間交流を促進し組織の活性化を図る。

財務内容の改善・向上、効率性の発揮と成果



現状と課題

1. 経営戦略計画に定めた目標利益を毎年達成している。
今後とも収支計画に基づき、各年度の目標売上高及び目標利益を達成する必要がある。
2. 営業活動や業務提案により局や近隣上下水道事業体等からの新規受託の獲得に努めている。
今後とも社全体の収支を考慮したうえで、局や近隣上下水道事業体等からの受託業務の拡大・拡充に努める必要がある。
3. 業務の効率化を図るためICT ツールの活用に取り組んでいる。
今後も、ICT ツールやデジタル技術を活用し、業務の効率化を図る必要がある。
4. 人材の有効活用により事業の効率化に努めている。
会社を取り巻く環境の変化にも柔軟に対応できる業務実施体制を構築する必要がある。



経営戦略目標 と 個々の取り組み

①収支の健全性を維持し、安定的な経営基盤を確立する。

- ・業務領域の拡大や業務受託先との関係強化により経営基盤の安定化を図る。
- ・営業活動や業務提案などにより、局や近隣上下水道事業体等から新規業務の獲得を目指す。
- ・業務改善を通じて、ムリ・ムダ・ムラを排除し、コスト意識を持って収支の健全性と業務の質・生産性の向上を図る。

②ICT ツールやデジタル技術を活用し、業務の効率化を図る。

・グループウェア、RPA、生成 AI などの ICT ツールを活用して定型業務の効率化・自動化を図り、事務・現場作業の生産性を高める。

③環境の変化に対応できる柔軟な業務実施体制の構築を図る。

・知識・技術を積極的に共有し、不測の事態にも柔軟に対応できるよう組織間連携を強化する。

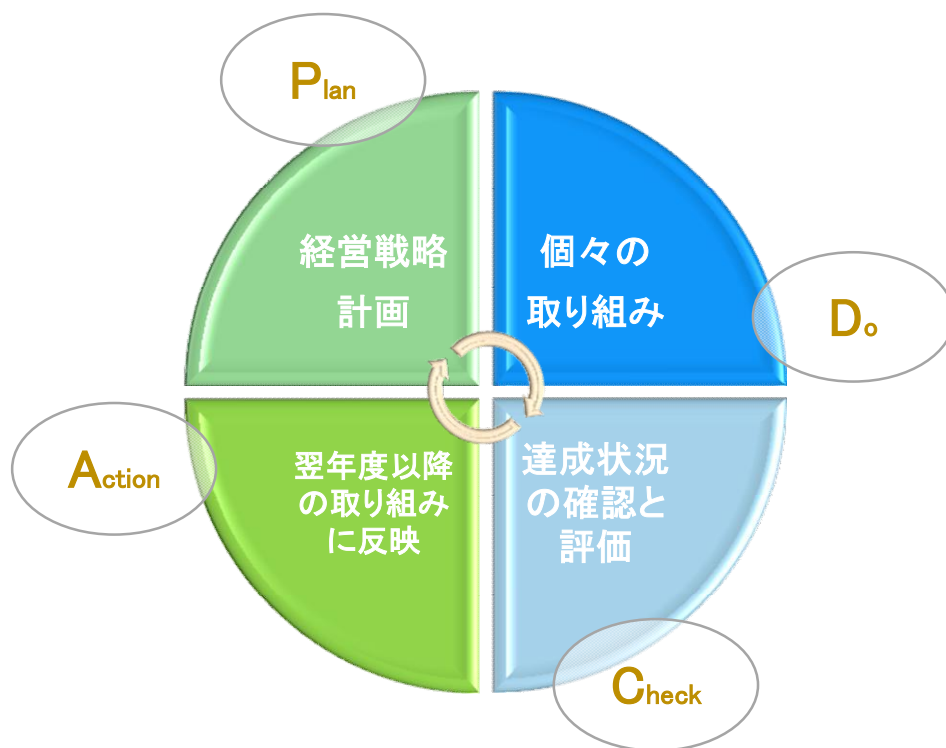
 **成果指標**

項目	R8	R9	R10
収支計画に基づき、各年度の目標売上高を達成する。	41 億円	42 億円	42 億円
収支計画に基づき、各年度の目標利益を達成する。	6 百万円	45 百万円	35 百万円
新規・拡充業務を各年度 5 件以上獲得する。	5 件以上	5 件以上	5 件以上
ICT ツール等により、業務を各年度 3 件以上効率化する。	3 件以上	3 件以上	3 件以上



計画の進行管理

- 計画の進行管理を全社的に行うため、役員及び各部門の社員で構成する「経営戦略計画運営委員会」を毎年度開催し、本計画に定めた「個々の取り組み」及び「成果指標」の達成状況を確認し、自己評価を行う。
- 「経営戦略計画運営委員会」開催後は、「個々の取り組み」及び「成果指標」の達成状況について監査役から評価を受け、翌年度以降の目標達成に向けた取り組みに反映させる。
- 外部環境の変化により取り組みに変更が必要となった場合は、計画の見直しを行うなど適切に進行を管理する。



「水」と「人」の環 - 信頼の **NAWS**

※NAWS(ナウス) : NAgoya Water and Sewage
General Service Co.,Ltd

NAWS SDGs 宣言



名古屋上下水道総合サービス株式会社(NAWS)は、「ライフラインである上下水道事業の一翼を担うソーシャルカンパニーとして、社会的課題の解決と営利企業の融合を目指します」という経営理念のもと、様々な取組みを進めてまいりました。

NAWSは、経営理念に通じるSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同するとともに、今後とも社会的責任と公共的使命を果たし、事業活動等を通じてSDGsを推進してまいります。

<p>地域防災への協力</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局、桑名市、東員町、上下水道関連団体との災害協定の締結 ・給水車の保有 	<p>地域防犯への協力</p> <p>11 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正な社会を築こう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道メータの検針等業務における地域防犯パトロール ・「オレンジリボンキャンペーン」への協力 ・「こども110番の家」活動への協力 	<p>働きやすい職場環境づくり</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を促進しよう 8 豊かさを増やそう 16 平和と公正な社会を築こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス、各種ハラスメント対策 ・資格取得に係る支援制度の実施 ・名古屋市ワークライフバランス推進企業の認証
<p>名古屋市以外の上下水道事業者等への支援</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 11 気候変動に具体的な対策を 13 気候変動対策を産業と社会の発展につなげる 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣上下水道事業者等への支援 	<p>給排水設備の適正な維持管理への寄与</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 9 産業と経済発展を推進しよう 11 気候変動に具体的な対策を 12 つくえ未来をつくらせよう 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビルピット臭気改善促進業務の実施 ・貯水槽水道点検業務の実施 ・公共下水道接続勧奨業務の実施 ・グリース阻集器維持管理適正化業務の実施 	<p>上下水道事業者の育成</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に 9 産業と経済発展を推進しよう 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局職員研修 ・日水協主催「配水管工技能講習会」の運営 ・日水協中部地方支部、中部地方下水協主催「技術技能研修」の運営 ・当社主催技術技能講習 ・給水装置工事主任技術者試験の運営 ・愛知県排水設備工事責任技術者資格試験及び更新講習の運営 ・指定給水装置工事事業者研修会への講師派遣 ・名古屋建築設備高等技術専門学校への講師派遣 ・給排水設備の審査・検査
<p>建設発生土や下水沈砂等の有効利用</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 11 気候変動に具体的な対策を 12 つくえ未来をつくらせよう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴海改良土センターの運転管理 ・宝神リサイクルセンターの運転管理 	<p>下水系プラントの運転管理</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と経済発展を推進しよう 11 気候変動に具体的な対策を 12 つくえ未来をつくらせよう 13 気候変動対策を産業と社会の発展につなげる 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水処理センター、ポンプ所の運転管理 ・汚水中継ポンプ施設の管理 ・汚泥処理施設の運転管理 	
<p>環境保全への寄与</p> <p>14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化の推進 ・リユースの推進 		
<p>JICA を通じた国際協力</p> <p>3 持続可能な成長を促進しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 9 産業と経済発展を推進しよう 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA 主催研修の運営 		